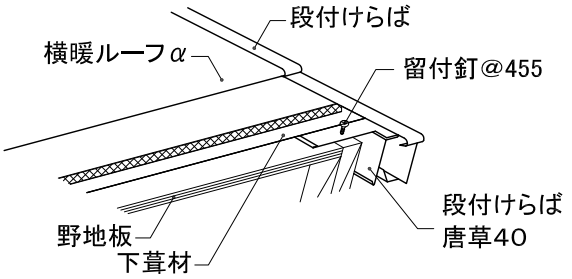
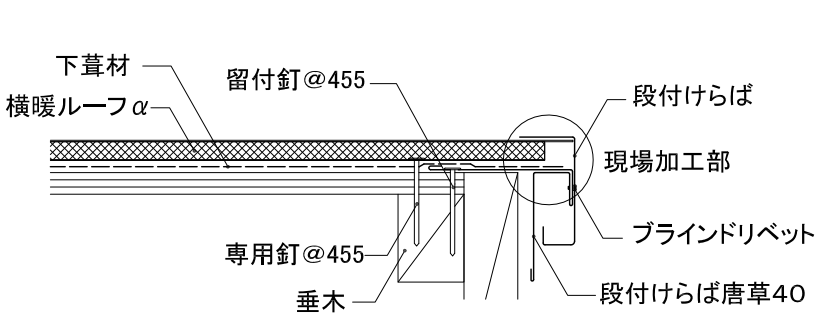
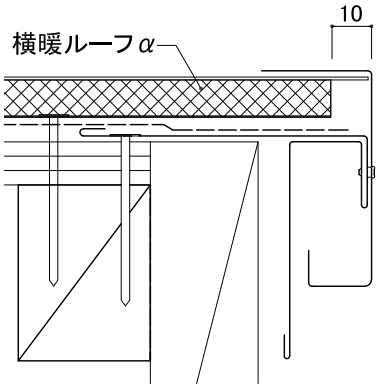
横暖ルーフα	工 法	下 地	構造
	新築	耐水合板	木造

5）けらば部　｜　③段付けらば唐草40＋段付けらば

○野地板上に、段付けらば唐草40を留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて455㎜以下の間隔で留め付けてください。
○下葺材を張り、横暖ルーフα本体は専用釘（ステンレススクリュー釘φ2．3㎜×50㎜）を用いて、455㎜以下の間隔で垂木に留め付けてください。
○段付けらばは、けらば小口にかぶせるように取り付けてください。その際、軒先から段付けらば軒先を施工し、以降段付けらばを使用して施工してください。
○段付けらば軒先および段付けらばは側面の穴からブラインドリベットで留め付けてください。



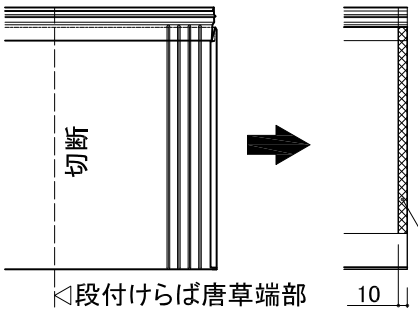




部分断面図

■施工ポイント・現場加工図
○横暖ルーフα本体のけらば部分は図のように加工してください。

①段付けらば唐草の端部となる位置を切断します。



②端部から10㎜の位置まで芯材のウレタンと裏面紙を剥がしてください。

○段付けらばは図のように軒先からかぶせるように取り付けます。
軒先は必ず小口付きの「段付けらば軒先」を使用してください。

※「段付けらば」、「段付けらば軒先」は形状が左右で逆になります。
必ずご確認の上、施工してください。

